

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 南アメリカのアンデス地方における食文化や農業の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 冷涼な高地という環境を活かし、じゃがいもの原産地として多様な品種を主食にしている。
2. 広大な平原を利用して、世界最大の輸出量を誇る小麦の単一栽培を行っている。
3. 降水量の多さを利用して、熱帯特有の作物であるサトウキビを主食として栽培している。
4. アジアから伝来した稲作が中心であり、大規模な灌漑施設を用いて米を生産している。

問2 南アメリカにおいて、ブラジルやアルゼンチンなどが中心となり、域内の経済的な結びつきを強め、関税の撤廃などを通じて経済成長を目指している地域統合体の名称として正しいものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. MERCOSUR（南米南部共同市場）
2. ASEAN（東南アジア諸国連合）
3. EU（欧州連合）
4. NAFTA（北米自由貿易協定）

問3 ブラジルにおける1990年から2014年の統計において、森林面積が一貫して減少している一方で、牛肉の生産量は増加し続けているという対照的な状況が見られます。このように森林破壊が進んでいる主な背景として最も適切なものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 世界的な食肉需要の高まりに因應するため、森林を切り拓いて肉牛の牧場開発を進めているため
2. コーヒー豆の国際価格が上昇したため、栽培面積を拡大するために原生林の伐採を優先しているため
3. アマゾン川流域での大規模な焼畑農業によって、主食であるトウモロコシの自給率が急速に高めているため
4. 都市部の人口過密を解消するために、内陸部で大規模な住宅地建設と道路網の整備を優先しているため

問4 南アメリカ大陸の多くの国々では、現在もキリスト教のカトリックを信仰する人々が人口の大きな割合を占めています。このように、南アメリカで特定の宗教が広く普及した歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. かつてこの地域が、カトリックを国教としていたスペインやポルトガルの植民地となったため。
2. 古くからこの地域に栄えたインカ帝国などの文明が、独自の宗教としてカトリックを信仰していたため。
3. 19世紀以降に中東地域からの移民が急増したことで、イスラム教とともにカトリックが伝わったため。
4. 北アメリカから独立運動を支援するために派遣された宣教師が、プロテスタントとともに布教したため。

問5 ブラジルにおけるトウモロコシ生産の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. セラードと呼ばれる広大な草原地帯の土地改良が進んだことで、大豆などとともに大規模な機械化農業が行われている。
2. 熱帯雨林の保護を最優先するため、トウモロコシの栽培は南部の冷涼な地域のみ限定されている。
3. アジア諸国からの移民によってもたらされた稲作技術を応用し、低湿地を中心に生産量を伸ばしている。
4. 生産されたトウモロコシのほとんどは、国内の食料自給率を向上させるために輸出が禁止されている。

問6 2020年の統計において、世界の州別の面積と人口の割合を比較すると、陸地面積は全体の約6.5%を占めている一方で、人口の割合は約0.6%と、世界の州の中で最も低くなっている州があります。この州の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. アフリカ州
2. ヨーロッパ州
3. 南アメリカ州
4. オセアニア州

問7 オーストラリアなどの大規模な鉱山で見られる、地表から直接、鉱石をすり鉢状に削り取っていく採掘方法を何といいますか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 露天掘り
2. 坑内掘り
3. 棚田
4. 輪作

問8 南アメリカ州の産業、特にブラジルの大豆栽培について述べた次の文のうち、1995年ごろから現代にかけての統計的な変化として正しいものはどれですか。（2026年 静岡公立入試 類似）

1. 経営体数は減少したが、作付面積は大幅に増加した。
2. 経営体数も作付面積も、ともに大幅に増加した。
3. 経営体数は増加したが、作付面積は大幅に減少した。
4. 経営体数も作付面積も、ともに大幅に減少した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冷涼な高地という環境を活かし、じゃがいもの原産地として多様な品種を主食にしている。	アンデス山脈周辺の国々では、高地の厳しい自然環境に対応するため、その土地が原産であるじゃがいもを中心とした食文化が築られました。地域によって異なる高度や気候に合わせて、数千種類にも及ぶじゃがいもが使い分けられており、アンデス地方の農業と生活を支える基盤となっています。
問2	答え 1 MERCOSUR（南米南部共同市場）	南アメリカの主要国であるブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイが、経済協力を通じて国際的な地位を高めるために結成した組織です。アルファベットの略称だけでなく、日本語の名称も問われることが多いためセットで覚える必要があります。
問3	答え 1 世界的な食肉需要の高まりに応えるため、森林を切り拓いて肉牛の牧場開発を進めているため	ブラジルではアマゾン川流域を中心に広大な熱帯林が広がっていますが、世界の食肉需要が増加したことに伴い、肉牛を飼育するための広大な牧場を確保しようとする動きが強まりました。この牧場開発を目的とした大規模な森林の伐採は、ブラジルにおける森林破壊の主要な原因となっており、地球温暖化の進行や生物多様性の喪失といった地球規模の環境問題を引き起こす要因として危惧されています。
問4	答え 1 かつてこの地域が、カトリックを国教としていたスペインやポルトガルの植民地となったため。	南アメリカの宗教分布は、16世紀以降の大航海時代におけるヨーロッパ諸国の進出と密接に関わっています。当時のブラジルはポルトガル、それ以外の地域の多くはスペインの植民地となりました。これらの宗主国がキリスト教のカトリックを熱心に布教したことが、現代においてもこの地域でカトリック信者が圧倒的に多い主要な理由です。
問5	答え 1 セラードと呼ばれる広大な草原地帯の土地改良が進んだことで、大豆などとともに大規模な機械化農業が行われている。	かつては酸性の強い土壌で農業に不向きとされたブラジル中西部の草原地帯「セラード」は、日本との協力などによる土地改良（土壌酸度の調整）を経て、世界的な穀物地帯へと生まれ変わりました。ここで生産されるトウモロコシは、ブラジルの主要な輸出農産物であるとともに、同国の肉類生産を支える飼料としても不可欠な存在となっています。
問6	答え 4 オセアニア州	オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるこの地域は、広大な陸地面積を有していますが、その多くが乾燥帯の砂漠や厳しい自然環境であるため、居住に適した地域が限られています。その結果、アジア州やアフリカ州など他の州と比較して、世界全体に占める人口の割合が最も低いという特徴があります。
問7	答え 1 露天掘り	地表から直接削り取るこの方法は、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」に比べて、大型の重機を投入しやすく大量の資源を効率的に採取できるという特徴があります。オーストラリアでは鉄鉱石や石炭の採掘において広く採用されています。
問8	答え 1 経営体数は減少したが、作付面積は大幅に増加した。	ブラジルの大豆農業は、1990年代後半から現在にかけて大きな構造変化を遂げました。機械化や資本の集中によって、小規模な農家が淘汰されたり吸収されたりして経営体数は減少傾向にあります。一方で国際的な需要の高まりを受けて未開墾地の開発や牧草地からの転換が進み、作付面積そのものは飛躍的に拡大しました。この「経営体数の減少と面積の増加」の組み合わせは、農業の近代化と大規模化を象徴する動きです。